

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和6年2月1日（木）

### 2 確認箇所

3号機原子炉格納容器ガス管理設備（3号機タービン建屋）

### 3 確認項目

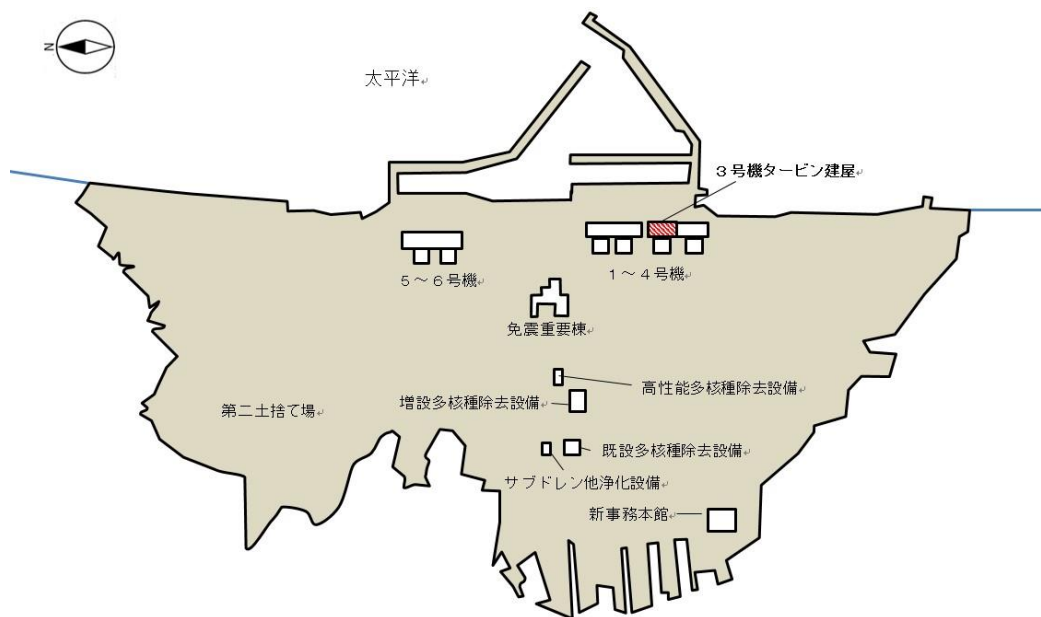
原子炉格納容器ガス管理設備希ガスモニタの点検状況

### 4 確認結果の概要

原子炉格納容器（以下「PCV」という。）内は、窒素封入設備により、配管の腐食や水素ガスの滞留などを防止するためにPCV内部へ不活性ガスである窒素を封入し、周囲から空気がPCV内部に流入しないように内部を正圧に保っている。また、PCVガス管理設備により、放射性ダストを除去するフィルタを通して排気するとともに、PCV内部の水素濃度、放射性希ガス濃度等を測定、監視している。

本日は、PCVガス管理設備のうち、放射性希ガス濃度を測定している希ガスモニタの点検が行われたため、状況を確認した。（図1）（前回確認：[令和5年12月14日](#)）

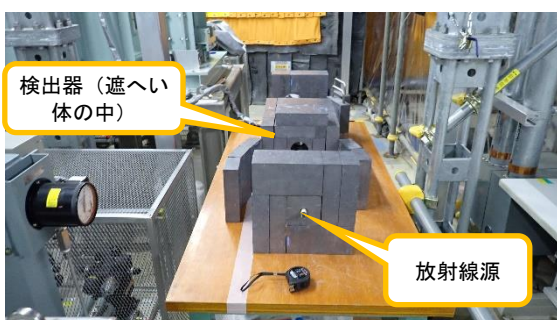
- ・ 3号機PCVガス管理設備の希ガスモニタは、3号機タービン建屋2階の塩害対策ハウス内に設置されており、A系、B系の2系統あるうちのA系が点検対象であった。（写真1）
- ・ 放射線検出器の検出方式はシンチレーション式であり、検出器を遮へい体の外側に出し、別のブロック型鉛遮へい体で囲いながら、標準線源を測定していた。（写真2）
- ・ 現場の担当者は測定結果（スペクトル、計数率）を確認しつつ、放射線検出器と標準線源の距離を変更しながら放射線源を照射し、点検を行っていた。なお、B系統の希ガスモニタは正常に作動しており、PCV内の希ガス濃度に異常は確認されなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
点検対象である希ガスモニタA系の  
状況 (検出器が取り外されている)



(写真2)  
希ガスモニタA系の点検状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。